

人文科学コース卒業生との交流会が実施されました 11月2日(火)

●人文科学コース卒業生3名が、人文科学コースの2年生とオンラインで交流しました

11月2日(火)6~7限目に、人文科学コース2年生が人文科学コースの先輩である大学生と、2時間にわたって交流しました。ねらいは、大学での勉強・研究について教えてもらうことと、高校2年生として学習面での相談に応じてもらうことでした。教育実習を終え、卒業論文に取り組んでいる文学部の4年生、これから就職活動に向かう経済学部3年生、オンラインでの授業の合間をぬって参加してくれた総合人間学部の2年生。高校時代の部活動は、野球部、バスケットボール部、演劇部と多様ですが、3人とも3年生まで部活動と学習を両立させました。

当日の流れ

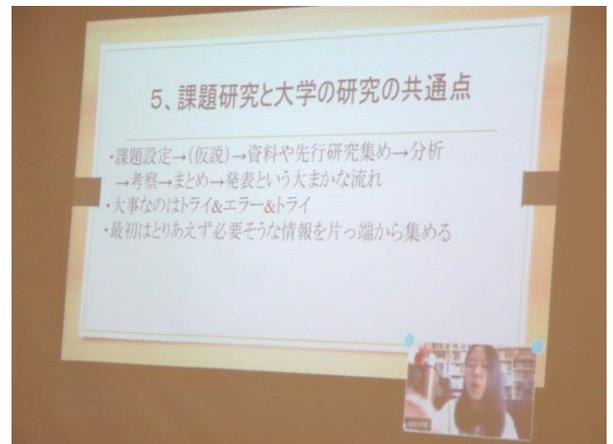
生徒は2会場(視聴覚室・情報室)に分かれ、卒論研究や大学での学びについて卒業生に語ってもらうSession 1、生徒と卒業生が自由に質疑応答を行うSession 2の形式でオンライン交流を行いました。

【視聴覚室】

Session 1

はじめに、現在の大学で何を研究しているのか、ということや研究当初から現在までどのように研究が進んできたのかということをお聞きしました。構想段階で考えていたことからテーマを絞ったり、観点を変えたりして試行錯誤していることも教えてくださいました。

人文科学コースで現在行っている課題研究授業が大学の研究とどのように共通するか、どのようなことが大切か、ということをお話いただきました。自分の研究に行き詰まったり不安を感じている人も、勇気づけられる部分が多く、研究への意欲が更に高まったようです。



Session 2

卒業生が在学時にどのような勉強をしていたのか、ということや勉強のモチベーションの保ち方など現在の学校生活に生かせる質問が多くありました。

卒業生は同じクラスの友達と競い合って学ぶことで高め合いができたことや、毎日のサイクルを決めて勉強時間をきちんと確保したことなどを話してくれました。

自分の夢をしっかりと持ち、そのための努力を着実に積み重ねている姿に感銘を受けた人も多かったようです。



[情報室]

Session 1

卒業生がどのような経緯で現在の学部を選んだのかや現在受講している授業・ゼミの内容などについて語ってもらいました。

卒業生は、後期試験や浪人を経て、現在の進路に進んでおり、苦しいときでも、「興味のあることを深めたい」という探究心や「海外留学の制度が充実しているこの大学・学部で頑張りたい」という強い思いを持って努力を続けていました。

文理融合的な面を持った「総合人間」学部は、文理の枠にしばられず、幅広い視点で研究をすることができる環境であるとのことでした。また副専攻も充実していて、自分自身の興味のあることに複数挑戦できることも魅力的でした。卒業生は「VR演劇」の講座を受講しているそうで、その内容に生徒は興味津々でした。



Session 2

卒業生は高校時代に、野球部とバスケットボール部に所属していたので、生徒たちは「勉強と部活の両立」に関する質問を多くしていました。卒業生は、限られた時間をどのように使うか、学習のモチベーションをどのように保っていたかなどの方法をアドバイスしてくれました。

最後には卒業生からエールをもらい、生徒たちはとても充実した時間を過ごすことができました。



交流会を終えて

忙しい学業の合間をぬって、参加してくれた卒業生のみなさんのおかげで、生徒たちはとてもよい刺激を受けました。先輩方を超えられるよう、今後のゼミ活動だけでなく学業や部活動も頑張っていきます。数年後、この9期生の中から後輩たちの「道しるべ」となってくれる人が出てくることを願っています。

★「人文科学コース」今後の予定★

- ◎ 12月14日（火）Jゼミプレ発表会
- ◎ 1月18日（火）Jゼミ最終発表会
- ◎ 1月25日（火）NSH5校合同発表会
- ◎ 3学期 企業の経営者に学ぶ会を計画中です

